

「Fukuoka Art Next」今月のアート（7月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

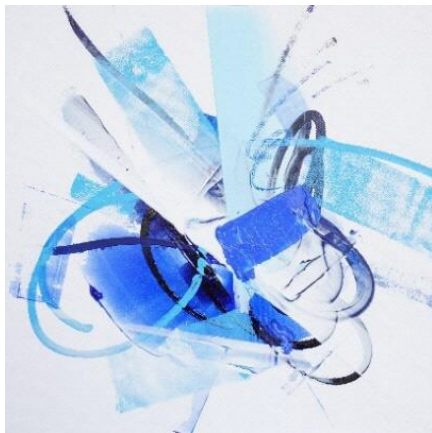
■ アーティストについて

銀ソーダ（ぎんそーだ）

1995年福岡市生まれ、福岡市在住。2018年九州産業大学芸術学部デザイン科ビジュアルアート領域卒業。福岡・東京を中心に多数の個展やグループ展をおこなっている若手アーティストです。

「記憶と時間の可視化」をテーマに、空や海のように豊かな表情をもつブルーを基調とした作品を制作しています。

■ 作品について



作家名 : 銀ソーダ
作品名 : move on 01
制作年 : 2022年
材質技法 : アクリル、メディウム、
 オイルパステル・画布
サイズ : 40 × 40cm

<作家のことば>

何層にも重なる絵具は人生の軌跡のようなものをあらわす。私は記憶の海と呼んでいる。ひとつひとつの積み重ねが「なにか」になっていく様子を表現している。（銀ソーダ）

タイトルの「move on」とは「進め」という意味です。作家が青い絵具を使うのは、青い空の向こうに果てしない宇宙がひろがるように、可能性を信じて生きていきたいという思いからです。過去の記憶や経験と未来への可能性を表現した最新作です。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：岩永、山木

TEL : 714-6054 FAX : 714-6145e-mail : yamaki@fukuoka-art-museum.jp